

専門課程シラバス

| | | | | | |
|--------|--|---------|----------|-------|-------|
| 科目区分 | 専門基礎分野 | 単位数・時間数 | 1単位・30時間 | 開講時期 | 1年・前期 |
| 授業科目名 | 解剖生理学Ⅱ(呼吸器系・循環器系・腎、泌尿器系・内分泌系・生殖器系) | | | 授業形態 | 講義 |
| 担当教員 | 門脇 啓治 | | 実務経験 | ○(医師) | |
| 授業概要 | 疾病の成り立ちと回復の促進へ繋ぐ科目として、人間が生きるためにバランスよく営まれている生命維持との関連や身体反応の出現のメカニズムの基礎を理解する。 | | | | |
| 学習目的 | 人体を構成する各器官の基本的な構造(形態)と主なはたらき(機能)を理解する。 | | | | |
| 到達目標 | 1. 人体各部位・器官の名称と、構造の特徴を説明できる。 2. 各器官のはたらきを専門用語を用いて具体的に説明できる。 | | | | |
| 授業内容 | <p>1・2 呼吸器系の構造・呼吸</p> <p>3・4 呼吸器系の構造・呼吸</p> <p>5・6 血液</p> <p>7・8 循環器系の構成・心臓の構造</p> <p>9・10 心臓の拍出機能</p> <p>11・12 抹消循環系の構造</p> <p>13・14 血液の循環の調整・リンパとリンパ管</p> <p>15・16 腎臓</p> <p>17・18 排尿路・体液の調整</p> <p>19・20 自律神経による調節・内分泌系による調節</p> <p>21・22 全身の内分泌腺と内分泌細胞</p> <p>23・24 ホルモン分泌の調節・ホルモンによる調節の実際</p> <p>25・26 男性生殖器・女性生殖器</p> <p>27・28 受精と胎児の発生</p> <p>29・30 成長と老化</p> <p>終講試験</p> | | | | |
| 評価方法 | 試験、学習への取り組みを総合的に評価する。 | | | | |
| 教科書 | 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能1 第11版第4刷 医学書院 2025 | | | | |
| 参考図書 等 | | | | | |
| 備考 | | | | | |